

ガバナー月信



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary Club President & Secretary

超我の奉仕

会員増強拡大に超我の理念を

国際ロータリー 第2790地区
ガバナー 山中 義忠 (船橋南RC)

クラブ年間純増1名かそれ以上、と云うのが本年度RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏の必須、必至のお願いであり、それは亦、私の必死の目標でもあります。この純増1名とは、会員1-2名の自然減で2-3名の新入が必要、更に退会2-3名で5-6名の新增を果たさねば実現しない、極めて厳しい数字なのであります。

丁度10年前私がクラブ会長の時、退会防止をクラブ目標に掲げ頑張りましたが、大体上記の計算通りに年間1名ずつ減少し、今日に至っております。退会の最も多い理由は、ロータリーの定款細則についてゆけない、つまり守るべき規則が多過ぎる、というものです。次がロータリーに、予想していた以上にお金と時間が必要で、それを浪費と認識したから、が挙げられます。最後に人間関係で、入会の古い会員が、新しい会員に対して先輩面の優越的態度をとること、役員が一般会員に対するも同じ、というものです。これ等は、どんな組織、団体、クラブにも共通の理由かもしれません。

然し、ロータリーにあっては、あっては成らない理由だと私は理解しています。超我は、只人に与えること、即ち愛、奉仕は只与える行為、超我の奉仕は、愛の実践、即ち奉仕の理想であります。ロータリーを愛すること、それはロータリアン相互が与え合うことで、当然なる行為です。人を愛すること、それが出来ない人は、ロータリーに居ることが苦痛になるでしょう。この超我の奉仕を、馬鹿らしいと思う人は、ロータリーを馬鹿らしいと思うでしょう。ロータリーに献金できなくとも知的貢献、物的援助、労力支援、が出来れば、それは立派で見事なロータリアンです。

超我は、倫理以前のものそれが愛です。人に愛を感じない人、それは入会することを初めから拒否するでしょう。本当のロータリアンは、今一人の本当のロータリアンを入会させて下さい。RI会長のいう1名とは、そういう一人を言っているものと、私は信じております。自分が入会させた人が退会したら、自分自身が、超我の、本当の、ロータリアンまでには、未だ成長していなかったと知りましょう。

そう、ロータリーは、人なのです。



新年度発進—地区チーム皆様への御礼

2005-06 年度 国際ロータリー

第 2790 地区 ガバナー 山中 義忠

発進とはいえ有事の本ガバナー新世紀年度をスタートし得たこと、それは地区諮問委員、地区委員会カウンセラー、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区各委員会委員長、委員、そして地区幹事長、地区幹事の皆様、更に又、地区内各クラブ会長、幹事、委員会委員長、委員の皆様のご超我の御支援、御協力があったからこその実現と、今改めて厚く御礼申し上げます。

有事とは、いまだに止まらぬ会員減少が、世界的経済景気の低迷後退のみならず、現在ロータリーの本質そのものに起因する、との危惧が囁かれていることを指しております。この事は、その囁く人達が挙って、ロータリーからは最早得るものが無い、金と暇の有り余った年寄りどもが奉仕という美辞麗句に酔って金力と権力の自己顕示欲を満足させているのがロータリーの本質実態だとする誤った認識の現実であります。

ロータリーは今、この金力、権力を捨て去らねば成りません。超我の愛とその奉仕は、いまロータリーが与えるものが、金銭や物資ではなく、正しい知識と技術であること、そして与えられるものの自主自尊の進歩を共に喜ぶ心が、ロータリー精神そのものであることを世界に示して呉れましょう。

これからの 1 年、超我の奉仕、愛と心の奉仕、を共に為すことにご同意戴き、有事を無事に変える自信を頂いた地区チームの皆様へ、感謝と御礼をもう一度、申し述べさせていただきます。

有難う御座いました。

ガバナー公式訪問日程(8月)

月	日	曜日	クラブ名	分区
8	2	火	八千代中央	11
	4	木	千葉港	3B
	4	木	千葉若潮	3A
	8	月	千葉	3A
	8	月	千葉東	3A
	9	火	多古	8
	10	水	市原	3B
	18	木	茂原	6
	22	月	横芝	6
	24	水	野田セントラル	13
	30	火	市川東	1
	31	水	木更津東	4
	31	水	富津シティ	4

公式訪問の日程変更クラブがあります。

*館山ベイRC : 12/8 (木) ★→10/27 (木) ★

*東金ビューRC : 10/27 (木) ★→1/19 (木) ★

*白井RC : 1/10 (火) →2/13 (月)

8月

会員増強及び拡大月間

Membership and Extention Month

3日(水)	社会奉仕委員会 第1回委員長会議
4日(木)	R財団委員会 第2回委員会 WCS委員会 第2回委員会 職業奉仕委員会 第2回委員会
6日(土)	第2回地区諮問委員会
7日(日)	青少年交換委員会 応募者選考試験
23日(火)	第39回インターアクト年次大会
27日(土)	第2回ガバナー補佐会議
28日(日)	R財団委員会 第3回委員会 地区財団セミナー 奨学生オリエンテーション



「新年度によせて」

第1分区ガバナー補佐

関口 徳雄 (浦安 RC)

ロータリー歴は古いのですが、ガバナー補佐として地区指導者側の一員となり、地区運営の実務を知る立場になったのは初めてですので、若干の戸惑いはあるものなるほどそうなのか、と思うようにもなりました。例えば、R財団や米山につき通常寄付の外に何故特別寄付を求めるのか、どうしても必要なものなら予算化して最初から分担金として\$100徴収しておけば、寄付する人としなない人の区別もなくなりすっきりして良いと思っていたのですが…。

この度これらを運営する立場から見て寄付の必要性を感じました。

するとガバナー補佐の任務は、クラブと地区指導者との情報連絡係のみならず、物事の見方が立場によって違ってくることから会員ないしクラブと地区との利害の「調整役」も兼ねるのかなと思う次第です。



「新年度によせて」

第2分区ガバナー補佐

瀧 芳文 (船橋 RC)

「担当分区のクラブ運営管理についてガバナーを援助し、クラブが効果的に機能するのを支援する」という極めて重大な役割を課せられているガバナー補佐の任務がいよいよ開始しました。2004年版「手続要覧」には“効果的なロータリー・クラブの定義”として、四大奉仕部門の拡充およびロータリー財団への支援のほかに、指導者の育成に関する項目が記載されております。これはDLP、CLPの具現化を目標にしたものだと考えます。2001年版以前の“手続要覧”には“効果的なロータリー・クラブの定義”に関する条項は見当りませんので、RIがDLP、CLPの浸透に力点を置いていることが見てとれます。山中ガバナーは地区チーム研修セミナーで、各クラブがCLPを活用出来れば、DLPは達成されても同然だと概略このように記述されております。この分野へのガバナー補佐の関与が要求されているところだと私は解釈しております。私自信、CLPについては断片的な知識しかなく地区指導者の教示をいただきながら体系的に勉強し、担当分区会長幹事の研究テーマにしたいと考えております。



「新年度に寄せて」

第3分区Aガバナー補佐

布施 敬三 (千葉若潮RC)

次の100年に向けてのスタートとなる2005-06年度をガバナー補佐として迎える事は、私にとり大変光栄な事であると同時にその責務の重さを痛感しております。地区内85クラブを訪問するガバナーのご負担を少しでも軽減できる補佐でありたいと思っております。

2790地区のテーマは人命の保全であり、RIのテーマである超我の奉仕“愛の実践”であると説く山中義忠ガバナーのこの一年が“愛”に満ちた充実した年度でありますよう、またガバナーの更なるご活躍とご健勝を第3分区A内7クラブに代わりましてご祈念申し上げます。



『ロータリー創立200年を希求して』

～silent majorityからの卓話～

第3分区Bガバナー補佐

山崎 邦夫 (市原 RC)

各クラブを訪問して

1. ガバナー補佐という連絡係りです。

本日1年分のお話を全部致しますので、お聞き取り頂ければ幸いです。あと3回はメイクアップという事で、静かにして居ります。

独断と偏見に満ちた考え方を申し上げる事お許し下さい。これから申し上げます事は、ロータリーは横社会という事が原点です。しかしながら地区の会合に出席致しビックリしました。不思議でした。パストガバナーさん達がずらっと前面にご着席になり、大きな名札には諮問委員と怖そうに書いてあったようです。後の懇親会もパストガバナーだけの席で会食して居られました。連絡係も自分達だけで席を囲みました。何か不自然さを感じました。自クラブか、自分区の席に居るのが普通ではないでしょうか?色々申し上げて、私自身心もとない感が致しますが、連絡係りとして責任の果たせるミニマムの行動を任期中はしようと思っております。

- 長年の不良ロータリアンですので、紳士、淑女の集いに私なきがロータリークラブの運営についてお話する事は不躰の極みですが、ただ一つ原理原則を確認して行動して戴く事が肝要かと思われま。
- 横社会という素晴らしいテーマは、戦前大阪ロータリークラブの提唱した『Drop your dignity』であります。ご承知のとおりdignityとは、権威・威厳という事で、Dropとは引きずり降ろせという事です。『Drop your dignity』このフレーズは齋藤博PGからの孫引きですが、正にロータリーの原点そのものです。ロータリーの真骨頂で、常々そう有りたいものです。奉仕が原点ですので、二律背反の義務という言葉は使いたくありません。集会への参加、寄付に付きましても、皆様の出来る限りのご出席思召しの寄付で結構だろうと思います。

4. 地区、分区、ロータリークラブの運営に関しましては緩やかな連帯が必要であくまでも強制的言動と思われる行為は慎む事が肝要かと存じます。しかし、我々一人一人が組織へ参加している以上、魅力あるロータリークラブにする為、前向きな努力が必要とも思います。一例ですが、ロータリーの最大で喫緊の課題である会員減少防止についてですが、今年度、我が市原クラブは10余名の新人会員を迎え、会員増強という問題をクリアしたことで証明できます。それは、市原ロータリークラブの自由闊達な雰囲気と始関会長、角谷幹事の心意気の賜物です。志を持ってひたむきに努力をすれば形になって表れます。

私は常々『人が居るから組織が在る』と考えて居ります。1ロータリアンがクラブを構成し、クラブが分区を創り、分区が地区を創り出す。決してR Iがあり、地区があり、分区があり、単体のロータリークラブがあると考えるは居りません。R Iは『君臨すれども統治せず』であって欲しく、各クラブの独立自尊を尊ぶべきで、R Iは即ち象徴に近い姿が望ましいと考えて居ります。そして、地区、分区もそれは準ずるべきであります。

5. ロータリークラブに於いて、地区、分区、各クラブ数々の活動がありますが、それぞれも又クラブ協議会に於いても、常々立派な運営を為さっている皆様方がご自由に開催なさることが肝要かと存じます。

今年のテーマは、『超我の奉仕』だそうです。私はロータリーの原点は『始めに仕事ありき』『仲間達の語らいありき』『仕事を通しての奉仕ありき、浄財ありき』であろうと考えます。

あえて101周年を迎える今日、原点に戻ることが必要でありポールハリスの思想を普遍的に横軸として道祖神、土偶、信仰の様なローカルカラー豊かな個性的、深い契りを縦軸として、それぞれのロータリークラブが特色を持ち、江戸時代の儒学者 佐藤一斎先生 曰く『良く変ず故に変わる無し』の故事の如く行動する事により、ロータリーの原点は生き続けると信じています。その様な考え方のもと、1年間連絡係りを務めさせて戴きます。

時間も押してきましたので、連絡係の寝言を申し上げさせて頂きます。馬鹿馬鹿しいと思っ聞いて下さい。私が常々、地区大会や米山財団、ロータリー財団についての思いを語らせて戴きます。

まず、地区大会はガバナー選出地区の市民会館、体育館など公的施設で開催し、開催日は1日とする。2日は必要でしょうか?友愛の広場はカレーライスとミネラルウォーターで結構だと思います。地区大会であるが、国体の各県持廻りの様にガバナー出身の地域で開催すればロータリーの奉仕活動への地域の皆さんのご認識を戴き、地域活性化にも繋がり、ロータリーの奉仕活動に良好な影響を与え、なお広報活動とか会員増強などに強力な援護射撃となります。再度申し上げますが、是非ともホテルなどを使わず大会を開催し、地域に根ざした大会活動をすれば、ロータリー活動の活性化に寄与する事自明の理であります。

一層の事、大上段に構えて地区大会はガバナー出身の市町村で開催するという細則を作ったらいかがでしょうか?大会の内容ですが、美辞麗句が並んだようなR I会長代理の晩餐会。これも必要でしょうか?

地区大会は出来るだけ多くの会員に参加して理解を深めて戴ける様、全員登録参加で登録料5,000円とする。赤字が出ない様に予算内で必ず収める。開催日1日なれば充分に出来る。地区大会報告書は記録を残すのみにし必要最小限の体裁とする。私は、30年近いロータリー歴ですが、報告書は手元に1冊も残って居りません。他人が読まない自分史のようなものだと思います。もし必要ならば、開催クラブのみ写真のカットを沢山入れた立派なものを、自クラブの経費でお作りになったらいかがでしょうか?

次にガバナー月信について発送は、会長幹事のみとし、必要ならば例会日の会合テーブル上に載せるだけの10部程を各クラブでコピーをする。地区大会報告書とガバナー月信書簡素化すればかなりの経費が削減され奉仕活動に使う事が出来る。

米山財団、ロータリー財団の寄付者への御礼については、賞状のみとし両者のメダルは取り止めとする。皆さんメダルを活用して居られますか?そのカットした経費を奉仕に活用する。

色々申し上げましたが、定款並びに定款細則に触れるものがあればごめんなさい。

憲法も変える事が出来ます。女性天皇も出現する時代です。人間が作ったルールですから、100年が経過した現在に合わせ200年に向かって行くべきでしょう。

大変失礼を申し上げます。



「新年度によせて」

第4分区ガバナー補佐

泉 正泰 (木更津 RC)

ガバナー補佐をお引き受けすることなど荷が重過ぎないか悩みに悩みましたが、

結局ロータリアンの友情を信じてお受けすることとなりました。

しかし目下のところ暗闇から突然引っ張り出された牛の如く右往左往しております。

本年度カール・ヴィルヘルムステンハマー R I 会長のテーマ「超我の奉仕」の5文字はロータリー第2の百年の門出にふさわしいロータリー精神の根幹をなすものでございます。

ロータリーは職業を通して社会に奉仕すると言う理念にもとづいて行動します。時には浄財の寄贈とゆう形で社会に貢献することもあります。基本はあくまでも自分の職業を通して社会に貢献する素晴らしさを自覚することにあると考えます。

心に充実感を得ることで、総てに活力が満ち満ちてくるのではないのでしょうか?

私も微力ながら補佐として精一杯尽くしたいと思っております。



「新年度によせて」

第6分区ガバナー補佐

宍倉 一輔 (大多喜 RC)

前年はロータリー創立百年を祝い、本年は新たに新世紀の第一歩を迎える年と

なりました。百年に渉る光輝あるロータリーの継続性とその維持のためにテーマとしてロータリーの第一標語である「超我の奉仕」をR I 会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は躊躇することなく選定いたしました。このロータリーの原理原則というべき金言を念頭に置き乍ら分区内9クラブと接触を密にし補佐としての対応に心掛けて参りたいと考えます。地区研修セミナーでも研修リーダーが言及して居りましたが、「ロータリーの核心は会員とクラブにある」と謂われ、日常のクラブ活動の重要性を強調されました。毎例会に於けるクラブ運営が良好であれば、必然的にクラブの活動計画も順当に推進され、充実した然も楽しい毎例会が期待出来ると思っております。

着実な例会重視を主眼に微力ながらクラブ活動の助長を、少しでも出来ることを念願して参りたいと思っております。



「ロータリー101年目を迎えて」

第7分区ガバナー補佐

佐々木 守 (旭 RC)

輝かしい100年の歴史をお祝いし、新しい101年の新年を迎え、過去からの継続と更なる奉仕(超我の奉仕)をステンハマーさんは今年度のテーマに掲げております。即ち過去から未来への橋渡しの第一歩の年で、協力と継続性が不可欠であり具体的には地球環境の保全、特に水保全と識字率の向上が最重要課題であると位置付けております

当2790地区ガバナー山中義忠先生は今年度超我の奉仕と人命保全を強調されております。現在の暗い人命軽視の事件が毎日のように報道されている時に真にふさわしいスローガンであると賛同致します。私達第7分区の各クラブの各々の特徴、事情等を適格に把握して程々の行事、特に公式訪問がスムーズに有意義に実行されますよう一生懸命頑張りたいと考えております。



「ロータリー2世紀に向かって・職業人としての誠実と信頼を携えて」

第8分区ガバナー補佐

香取 利夫 (小見川 RC)

ロータリー2世紀のスタートに当たり、第8分区ガバナー補佐の任に就いた事にその重責さを感じて居ります。当第8分区は、地区内14分区中、会員数の最小の分区であります。

10数年前から会員数の減少が始まりました。この原因は職業分類の原則と、増強選考の基準が弛んで来た事に起因する物と考えられます。会員の職業人としての誠実さ、信頼度、そして生活スタイルがロータリアンとしての価値を表すものであり、この人達の集合体がクラブの評価となると思うのです。この職業人としての同志が切磋琢磨し合う所から、「超我の奉仕」へと向かうものと考えます。奉仕活動も寄付行為も立派な事ですが、先ず自らの考え方、生き方に重点を置き、職業人として倫理感を大切にする基本から、クラブの活性化、魅力を作っていきたいと思っております。次世代の若者達にこのロータリー思想を植え付け、更な



るロータリー2世紀の発展を目指す為には個人の見直しから始める事が今必要なのではないのでしょうか。

私達の周囲には、まだ多くの素晴らしい職業人が居ります。綱領の目的とするように、鼓吹すれば、力強い新会員が仲間・同志となってくれる筈です。

今年度は分区内各クラブの会員増強と会員同志の結束による深い親交の醸成から魅力あるクラブ作りにお手伝いをしてゆきたいと考えております。

各クラブには地域的な特性・個性があり、又伝統と歴史があります。そのクラブの持つキャラクターを尊重しつつクラブ訪問を通じて、私自信も巡礼のスタートを切りたいと考えます。

各クラブ執行部の会長・幹事さんをはじめ、会員先輩の方々の御支援・御協力を切に御期待する次第であります。

第5分区ガバナー補佐 大桃勝彦(勝浦 RC)様の「ガバナー補佐挨拶」は、紙面の都合で次号に掲載いたしますのでご了承願います。



「新年度によせて」

第9分区ガバナー補佐

平川 進 (白井 RC)

2005~2006年がいよいよ来たなって感じです。9分区のガバナー補佐としてスタートするわけですが、今、過去に経験したことのない緊張感と重責を感じ不安を隠せないのが正直な気持ちです。ガバナー補佐は地区と分区のパイプ役である事を仕事と理解し、背伸びせずにこの大役を真摯に受け止め努力してまいりたいと思っております。今年度R.Iのテーマ「超我の奉仕」を最も良く奉仕する者、最も良く報いられる、と訳し、サブテーマの識字率向上と水保全とありますが、中でも人間が生きていく上に絶対に必要な水問題を9分区のテーマとしてとり上げ、ロータリークラブと地域が共生出来ることを目的に、水源の水質、又、公共施設で利用している井戸水の水質調査を行い環境問題で何かと不安視されている水問題を明確にし、安全な環境づくりに貢献したいと思っております。



「ロータリーにおける奉仕とは」

第10 分区ガバナー補佐

森下 俊夫 (柏西 RC)

(活動方針)

新年度国際ロータリー会長は、そのテーマとして“超我の奉仕”を表明されました。これは、継続

性を以って原点に戻り、未来へまっすぐに志向すること、そして第二の100年の第一歩と位置づけられたものと理解しております。これを受けて山中ガバナーはこれを“静から動へ”と前進して行く“超我の奉仕”こそ奉仕の理想へと解されております。私はこの山中ガバナーの方針・目標を各クラブへ正しく伝え、また各クラブの意向・要望を地区運営に反映すべくパイ役に徹するつもりです。

(活動計画)

- ① 会員増強・退会防止等はすべてロータリー情報の不足に基因することが多いかと思えます。本年度のテーマでもあり、ロータリーにおける奉仕とは何か・・・を改めて各クラブの皆様と共に考えてみたいと思いません。
- ② 地区の活動計画・分区内の各クラブの諸活動に参加し、各クラブの会員との親睦・交流する機会を多く持ち、各クラブのもつ其の地域のみの独自性を伸ばすべく協力する。
- ③ IM (2/17)。公式訪問 (5クラブ)。合同例会 (1回)。会長幹事会 (6回)。の主催及び随付。



「景気回復、今こそ増強を！」

第11 分区ガバナー補佐

長谷川 禎一 (八千代中央RC)

バブルの崩壊後、いずこも会員減少に悩んでおります。11 分区の現在会員数

は223で、5年前に比較して26.6%の減少しております。幸にも景気回復の兆しが見えて参りました今こそ、止まることを知らぬかのような会員数の減少に歯止めをかけ、転じて増加に繋げる好機到来と考えます。各クラブにおかれましては、1名以上の純増目標の必達を期してご努力下さいませようお願い申し上げますと共に、ロータリー101年目が再発展の記念すべき年度になりますことを念願しております。

尚、今年度のIMは、「各クラブの活動の軌跡と将来への提言」をテーマに明年2月23日(木)に開催させて頂きます。多数のご参加お願い申し上げます。



「ロータリー、101年への継続発進」

第12 分区ガバナー補佐

岡田 庄一郎 (松戸西RC)

ロータリーは、今、新世紀年、101年を迎える事が出来ました。第12 分区5クラブ、松戸・松戸東・松戸

北・松戸中央・松戸西のロータリアンの皆様と共に喜び合いたいと思えます。

ガバナー補佐の任務は、第2790 地区ガバナー山中義忠様からのいろいろな、ロータリー情報を、各クラブに理解していただくように伝えて、「超我の奉仕」=奉仕の理想を実現することだと思っています。

ロータリーの基本は、各クラブにありますと、いつもガバナー山中義忠様よりご指導受けておりますので、地区のテーマ、人命の保全、自然死のみに(人命無くして愛なし)も、各クラブに訪問の時には、理解していただくように努力します。

又、ガバナー山中義忠様は、「ロータリーに教育倫理を」と述べられております。この辺に解決する鍵があるのかなーと思えます。

第12 分区の5クラブの皆様、ご指導、ご協力を切にお願い申し上げます、新世紀年、101年継続発進へのガバナー補佐の挨拶といたします。



「新年度を迎えて」

第13 分区ガバナー補佐

茂木 守之介 (野田 RC)

活動方針：

ガバナー補佐の役目は、ガバナーの提唱する地区目標達成のために、分区内の

まとめ役として、円滑な運営を心がけて行くことと理解しております。

その為、折にふれ各クラブを訪問し、会長・幹事と密接に話し合いをしながら目的を果たして行きたいと考えています。

特に今年度、周年行事を予定している、3クラブに対し、夫々の行事をサポートして会員の親睦を図りながら、組織の拡大・活性化を目指したいと思っております。

活動計画：

1. 定期的な会長・幹事会でクラブの実情把握。
2. 地区目標の達成に各クラブの協力要請。
3. 退会防止、会員増強を重視、会員相互の親睦。
4. 地区大会への登録を積極的に推進。



「会員増強についての私見」

クラブ奉仕委員会カウンセラー

パストガバナー 鈴木 雅博

此処数年、年毎に会員の減少が進んで居りましたが、漸く減少傾向に歯止めが架かった様に見受けられます。大量の退会者は、経済の失速と時を合わせての現象であり、会員の退会の理由が事業の経済状況に在ったとすれば、ロータリーの思想の根本に在る『職業奉仕』の精神が有効に作用出来て居なかったものと思います。何故、斯くも多くの退会者を生じてしまったかは、本質を弁えず、誰でも入れろ、数は力だと云う意識でバブルの如き『奉仕』を企てたからであり、其の調整の為の必然的な現象で自然淘汰が為されたと思われ、ロータリーの根底を揺るがす程の事ではありません。

危惧されるのは、近來の、『事業』の量をロータリーの価値基準とするような方針や、督励であり、此れはロータリーの基本的な思想を排斥しロータリーを墮落させる大変危険な傾向であります。私達ロータリアンは、外圧に流される事無く、信念を確立してロータリーを自己修練の場であるとし「職業奉仕」の思想の普遍が総ての奉仕への入り口である事を認識しなければなりません。

「ロータリーの特権」を受けるに相応しい人を求め、質を揚めて行く事で数は自ずと増えて行くものと信じて居ます。

「一業一会員」と云う制度が持つて居た、格段の意味と其の役割を評価し厳格な適用をして行く事もロータリーの本質を守る大切なものでありました。制度は変わり、数を得る為の軟弱なものとなっていました。目先の効果が何れほどか把握していませんが、安易で軟弱な考えがロータリーの基本を揺るがす事の無い様に祈る処であります。



「会員増強退会防止について」

会員増強・退会防止委員会

委員長 栗原 賢一

まず増強についてですが、今の不況の中、大変な事でしょう。ロータリーなんかやっている時間がない・・・という事が多いようです。又入会のメリットは何なんですか、なんて事を聞かれます。

一般的にロータリーは世間では認めてもらっていないのではないかと思います。これは先輩方のPR不足だと思います。例会だけ行き、新聞に載るような奉仕活動をしていないのではないかと思います。PRをしたくても何もしていないという事になります。市民を巻き込んだ奉仕活動をしてないのです。ですからロータリークラブの存在と行動が理解できないのです。世間では、年寄りの昼食会位としか考えていないのです。ですから、これからは社会奉仕活動を実行した場合、千葉日報に写真と記事を作って持っていけば必ずとは言いませんが、記載してくれる事でしょう。自分たちで広報活動をすべきです。

次年度純増1名、これは必ず達成して下さい。クラブの大小に関係なく1クラブ1名の純増をお願い致します、という事です。

地区に目を向けると最も会員の多かった1996年には80クラブで4334名の会員がいました。今年2005年4月現在、85クラブ3139名となり実に1195名の激減です。85クラブの平均会員数は37名ですので、1195名を37名で割りますと32となり、これは32クラブが消滅した事になります。30名以下のクラブが昨年は23クラブありましたが、今年7月現在28クラブとなりました。このような現象は止まらないかもしれません。新しい会員を求めるに当たり先程、申し上げましたように、ロータリーが何をしているのか、目的は何なのか、説明が不足しているのではないのでしょうか。1904年に経済状態の悪中で4名の会員が始めた事を忘れてはいけません。各地域に合ったクラブ活動をPRしてロータリーを理解してもらい必要があると思います。

特に日本の場合、古い歴史があるクラブ程、女性会員が入っていません。ロータリーが地域社会の横断面であるという前提に立つならば、女性会員の入会促進は不可避であるとの認識を持たなければなりません。特に女性会員を獲得する為には、既存女性会員の活用が肝要です。

退会防止については、それぞれの個人的な理由もあり、この件については適切な方法はありませんが、入会3年未満の者の退会者が多くいる事は、ロータリーを理解していない内に結論を出し(例：おもしろくない、メリットがない、友達が出来ない、時間の無駄だ・・・等)、退会していくようです。

永年ロータリーに在る人は矢張、無形の恩恵を受けているので辞める必要がないと思っています。所属クラブ外に友人も出来るし、楽しい時間も過ごせるようです。私自身ロータリーの友人は財産だと思っています。

年会費から計算すると、クラブによって少し違いがあるが、月額20000円～25000円程度の交際費だと思えば、こんなにすばらしい人と友人になれる事は他に例がないと思います。それも市内だけでなく県内、全国、全世界・・・にと。

この良き人間関係を広く、色々な人に理解してもらい、新しい仲間を作りましょう。次年度は大きい、小さいクラブに関係なく、純増1名以上を達成して下さい。

☆☆ 例会場・事務所変更のお知らせ ☆☆

ガバナーエレクト事務所

Tel : 0436-40-7900 Fax : 050-551-8598

第3分区 市原

事務所：〒290-0062 市原市八幡 1073
Tel : 0436-40-8900 Fax : 0436-40-8960

第4分区 富津シティ

事務所：〒299-1147 富津市人見 1662-1
(株)朝倉工業内
Tel : 0439-54-7290 Fax : 0439-54-7291

第5分区 館山ベイ

例会場：
Tel : 0470-23-8100 Fax : 0470-23-8101

第9分区 白井

事務所：〒270-0145 白井市清戸 703
船橋カントリークラブ内
Tel : 047-497-0236 Fax : 047-497-0245
例会場：同上
Tel : 047-497-0236 Fax : 047-497-0245
例会日：月曜日

第11分区 佐倉

事務所：佐倉市大崎台 5-6-11
国際教育センター内
Tel : 043-485-8895 Fax : 043-485-8895
例会場：佐倉市飯田 1000
佐倉カントリークラブ
Tel : 043-485-0311 Fax : 043-485-5188

第11分区 四街道

事務所：〒284-0001 四街道市大日 429-2
M2 プラザ 3F 加チャ-センター 内
Tel : 043-421-3841 Fax : 043-251-0184
例会場：同上

☆☆ 文庫通信 (215号) ☆☆

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

(文庫通信の続き)

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下の資料のご紹介をいたします。

地区大会講演より

- ◎「今、飲み水が恐ろしい」 北野 大
2005 6P (D.2800)
- ◎「新しい国際社会と日本の軍縮外交」
猪口 邦子 2004 10p (D.2610)
- ◎「少子社会の人間学～夫婦仲が悪いと子供がキレる」 富岡 賢治 2004 6p
(D.2840)
- ◎「21世紀の美しいまちづくり」 石川 幹子 2004 3p (D.2520)
- ◎「ユネスコ活動とロータリー活動」 野口 昇 2005 8p (D.2530)
- ◎「日本人と奉仕の心」 鈴木 健二 2005 8p (D.2830)
- ◎「夢を追いかけて」 山本 昌邦 2005 4p (D.2740)
- ◎「スペシャルオリンピックスについて」
細川 佳代子 2004 7p (D.2660)
- ◎「プロジェクトX～限りなき挑戦」 今井 彰 2004 12p (D.2660)

上記申し込み先：ロータリー文庫 (コピー)

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー第 2790 地区 2005 年～2006 年度



地区大会記念ゴルフ大会のご案内

日程： 2005 年 9 月 16 日（金）

会場：中山カントリークラブ

千葉県八千代市桑橋 1299

TEL047-459-2141



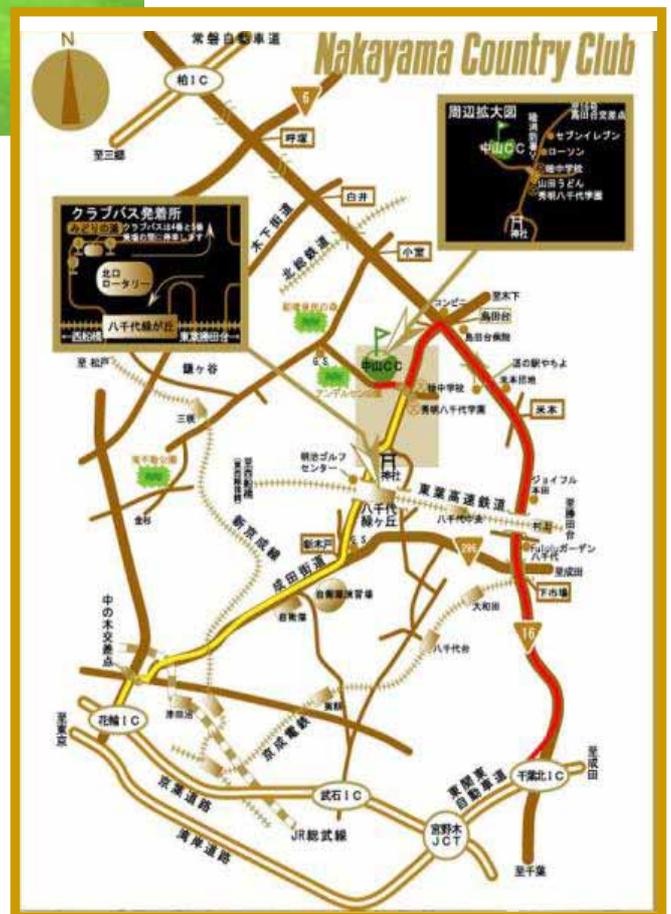
～プロゴルファーによるレッスンが有ります～

- ▶登録開始：午前 7 時 0 0 分
- ▶競技スタート：午前 7 時 3 0 分
- ▶表彰式：午後 4 時 3 0 分

- ▶登録料：28,000 円
昼食・パーティー代・参加費・賞品代
・キャディー付プレー費・利用税含む
その他費用は各自でご清算下さい

- ▶申込締切
8/10（水）迄にクラブ単位でお申し込み下さい。
申込用紙は各クラブ宛に発送致します。
先着 200 名様にて締め切らせて頂きます。

- ▶交通案内
 - ・千葉北 IC より国道 16 号を柏方面へ北上、島田台左折、3 つ目の信号右折
 - ・柏 IC より国道 16 号を千葉方面へ南下、島田台右折、3 つ目の信号右折
 - ・花輪 IC より成田街道(296 号)に出て、自衛隊の北側 を通り、新木戸左折
 - ・八千代緑が丘駅より車で約 5 分



新ロータリアン



久保裕司
(市川東)
印刷

平成17年5月10日入会



渡部茂樹
(船橋)
普通銀行

平成17年5月10日入会



高松 滋
(船橋)
旅行業

平成17年5月31日入会



阿部達也
(船橋みなと)
ホテル

平成17年6月7日入会



平山郁雄
(船橋みなと)
損害保険

平成17年5月10日入会



堀 光子
(船橋みなと)
スーパー

平成17年5月10日入会



杉浦純一
(千葉南)
プレハブ建築

平成17年5月27日入会



伊藤英樹
(市原)
広告代理店

平成17年1月12日入会



小倉照子
(市原)
ホビーアート製作

平成17年1月12日入会



菊地政廣
(市原)
建設業

平成17年2月2日入会



蔵内玲子
(市原)
医療機関

平成17年2月2日入会



高澤豊明
(市原)
建設業

平成17年1月12日入会



常澄明男
(市原)
石材加工業

平成17年4月6日入会



行木一雄
(市原)
経営コンサルタント

平成17年2月2日入会



山本順也
(市原)
生命保険業

平成17年3月9日入会



檜垣可子
(市原)
清掃業

平成17年3月9日入会



高野 学
(市原)
医療機関

平成17年4月6日入会



長田博正
(市原)
産業廃棄物処理業

平成17年3月9日入会



高橋幸二
(千葉北)
ホテル

平成17年4月20日入会



斉藤和子
(千葉北)
税理士

平成17年1月1日入会

新ロータリアン



君塚幸申
(千葉北)
消毒殺虫剤
平成17年4月20日入会



丸 善治
(館山)
建築
平成17年6月8日入会



鈴木喜一郎
(館山)
調整食品
平成17年6月8日入会



中村武雄
(館山)
地方銀行
平成17年5月18日入会



木村 齋
(成田ｺｽﾀﾞﾏﾘﾝｸﾞ)
食料品卸
平成17年7月1日入会



柴崎 剛
(成田ｺｽﾀﾞﾏﾘﾝｸﾞ)
都市ホテル
平成17年7月1日入会



高木貞男
(成田ｺｽﾀﾞﾏﾘﾝｸﾞ)
信用金庫
平成17年5月1日入会



望月壽一郎
(成田ｺｽﾀﾞﾏﾘﾝｸﾞ)
警備業
平成17年5月1日入会



小澤邦治
(柏西)
料理店
平成17年6月17日入会



高木行雄
(習志野)
商業銀行
平成17年7月6日入会



加藤雅章
(松戸西)
仏教
平成17年4月27日入会



中島恵里
(柏南)
デザイン業
平成17年6月1日入会



齋藤国春
(松戸北)
自動車販売
平成17年5月10日入会



田中文朗
(市川)

ベネファクター

新ベネファクター



初山武美
(千葉東)



鈴木洋次
(袖ヶ浦)



石上新平
(銚子東)



岡田英一
(旭)



成塚正浩
(野田)

マルチプルPHF



網島照雄
(千葉若潮)
第1回目



加藤隆
(千葉東)
第1回目



井上隆夫
(大原)
第1回目



三枝清純
(銚子)
第1回目



稲毛幹夫
(富里)
第2回目



石澤幹朗
(富里)
第2回目



三橋勝敏
(富里)
第3回目



神野美明
(柏)
第1回目



長谷川秀夫
(柏)
第1回目



溜川良次
(柏)
第1回目



田村清人
(習志野)
第3回目

新PHF



熊田禎直
(市川)



石井邦夫
(市川)



佐脇浩
(市川)



茂手木直忠
(千葉東)



稲毛信子
(富里)



近藤和幸
(千葉若潮)



今村敏昭
(千葉東)



高橋英雄
(千葉港)



川内信一
(市原)



小川長二
(市原)



長谷川秀夫
(柏)



根本孝英
(柏)

米山功勞賞



加藤憲一
(市川)
第1回目



石井邦夫
(市川)
第1回目



佐脇浩
(市川)
第1回目



市原哲
(千葉中央)
第1回目



岡崎常美
(千葉中央)
第4回目



木頭信夫
(千葉中央)
第1回目



小林春雄
(千葉中央)
第2回目



佐藤尚武
(千葉中央)
第1回目



始関信夫
(市原)
第2回目



千葉精春
(市原)
第1回目



及川喜和
(市原中央)
第2回目



太田和夫
(千葉南)
第7回目



坂本庸夫
(千葉港)
第1回目



角谷修
(市原)
第1回目



野城友三
(千葉南)
第4回目



島田誠一
(鴨川)
第1回目



末吉一夫
(鴨川)
第1回目



新行内幸雄
(旭)
第1回目



安里光雄
(富里)
第1回目



小倉光雄
(富里)
第1回目

米山功労賞



石澤幹郎
(富里)
第1回目



稲毛幹夫
(富里)
第1回目



森一
(富里)
第1回目



山倉健彦
(富里)
第1回目



榎本洋史
(柏西)
第1回目



勝田健一
(柏西)
第1回目



榊隆夫
(柏西)
第4回目



宮崎清輝
(習志野中央)
第4回目



大木喜彦
(千葉緑)

黄綬褒章

敬 弔

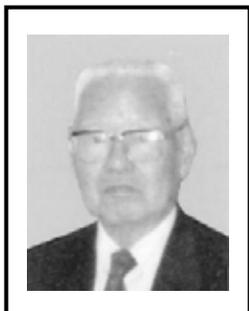
- 謹んで哀悼の意を表します -



高木詳英君(八街RC)
2005年6月17日逝去 享年74歳
1970年4月8日入会
(再入会1983年1月19日)

□-列-歴

- ・1990～91年度 会長
- ・2000～01年度 9分区代理
- ・マルチプル・ホール入会者 2回



長谷屋武弘君(富津中央RC)
2005年6月14日逝去
1981年1月1日入会

□-列-歴

- ・1982～83年度 職業奉仕委員長
- ・1989～90年度 職業奉仕委員長
- ・1992～93年度 社会奉仕委員長
- ・ホール入会者

R. I. 第2790地区(千葉)2005年6月出席・会員数報告

分区分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数							分区分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数							
				女	男	7/1	女	男	今月	増減					女	男	7/1	女	男	今月	増減	
第1分区分区	市川	100	5	0	51	51	0	47	47	-4	第6分区分区	大多喜	85.00	3	2	19	21	2	20	22	1	
	市川東	94.95	4	0	55	55	0	55	55	0		横芝	98.30	4	1	33	34	0	33	33	-1	
	市川南	80.80	5	0	24	24	0	22	22	-2		茂原東	88.89	4	2	36	38	3	32	35	-3	
	浦安	87.20	4	0	52	52	0	54	54	2		茂原中央	94.65	4	4	26	30	4	25	29	-1	
	市川シビック	82.67	4	0	42	42	0	41	41	-1		大網	72.22	5	2	34	36	2	34	36	0	
第2分区分区	船橋	96.07	4	0	31	31	0	33	33	2	第7分区分区	東金ビユー	96.00	4	0	29	29	1	27	28	-1	
	船橋西	92.62	4	1	40	41	2	41	43	2		銚子	89.57	5	2	57	59	1	51	52	-7	
	鎌ヶ谷	85.19	5	2	28	30	2	29	31	1		旭	80.00	4	0	52	52	0	52	52	0	
	船橋東	92.00	5	3	30	33	3	29	32	-1		八日市場	93.14	3	0	40	40	0	38	38	-2	
	船橋南	96.30	5	3	25	28	3	24	27	-1		銚子東	84.73	4	0	54	54	0	54	54	0	
	船橋北	84.00	4	0	22	22	0	8	8	-14		第8分区分区	佐原	91.50	4	0	54	54	0	50	50	-4
船橋みなと	72.82	4	8	20	28	9	21	30	2	多古	83.33		3	0	23	23	0	23	23	0		
第3分区分区A	千葉	88.50	4	0	70	70	0	76	76	6	第9分区分区		小見川	90.90	5	0	36	36	0	32	32	-4
	新千葉	87.80	5	0	49	49	0	50	50	1			佐原香取	77.30	4	0	23	23	0	22	22	-1
	千葉西	90.24	4	2	48	50	4	50	54	4			成田	94.50	4	0	52	52	0	48	48	-4
	千葉中央	88.65	5	0	43	43	0	40	40	-3			八街	74.67	5	2	48	50	2	41	43	-7
	千葉幕張	81.76	4	6	33	39	6	31	37	-2		印西	90.47	5	0	30	30	0	28	28	-2	
	千葉東	75.00	4	3	27	30	2	29	31	1		印旛中央	65.90	4	0	12	12	0	11	11	-1	
第3分区分区B	千葉若潮	81.76	4	1	44	45	1	45	46	1	第10分区分区	白井	85.40	4	0	25	25	0	24	24	-1	
	千葉南	82.12	4	5	48	53	5	47	52	-1		富里	83.34	4	0	28	28	0	28	28	0	
	市原	79.40	4	3	43	46	4	46	50	4		成田コスモポリタン	75.47	5	0	52	52	0	53	53	1	
	千葉港	68.82	5	0	34	34	0	34	34	0		第11分区分区	柏	71.30	5	1	33	34	3	30	33	-1
	市原中央	74.00	4	1	52	53	1	50	51	-2			我孫子	77.97	4	0	27	27	0	27	27	0
	千葉北	76.66	5	2	23	25	3	22	25	0			柏西	89.31	4	1	46	47	1	46	47	0
千葉緑	65.07	4	2	29	31	3	32	35	4	柏沼南	81.60		5	1	27	28	1	24	25	-3		
第4分区分区	木更津	91.86	4	0	48	48	0	41	41	-7	柏南		88.60	4	1	36	37	2	35	37	0	
	上総	78.25	5	0	22	22	0	23	23	1	第12分区分区		習志野	79.20	4	2	41	43	1	40	41	-2
	富津	90.23	4	1	24	25	1	22	23	-2		八千代	85.18	4	0	55	55	0	52	52	-3	
	富津中央	85.00	5	0	22	22	0	21	21	-1		佐倉	74.00	5	0	24	24	2	19	21	-3	
	木更津東	83.11	4	0	47	47	0	45	45	-2		四街道	73.23	4	4	22	26	4	24	28	2	
	君津	94.87	4	2	44	46	3	43	46	0		八千代中央	70.00	4	0	30	30	0	30	30	0	
袖ヶ浦	95.65	4	2	23	25	2	19	21	-4	習志野中央		78.80	4	2	32	34	2	31	33	-1		
第5分区分区	富津シティ	80.00	5	1	23	24	0	20	20	-4	第13分区分区	佐倉西	58.82	4	3	14	17	2	14	16	-1	
	館山	91.82	5	3	56	59	3	56	59	0		松戸	78.23	5	0	44	44	0	45	45	1	
	鴨川	84.20	5	1	24	25	1	26	27	2		松戸東	94.52	4	0	53	53	0	53	53	0	
	勝浦	88.20	4	1	34	35	1	35	36	1		松戸北	84.09	4	0	46	46	0	43	43	-3	
	千倉	83.93	4	0	28	28	0	28	28	0		松戸中央	70.08	4	4	40	44	4	41	45	1	
第6分区分区	鋸南	93.51	5	2	23	25	2	19	21	-4	松戸西	81.99	5	0	27	27	0	32	32	5		
	館山ベイ	63.57	5	0	30	30	0	26	26	-4	野田	80.58	4	6	50	56	6	50	56	0		
	茂原	93.63	5	5	68	73	5	68	73	0	流山	73.00	5	1	33	34	2	24	26	-8		
	東金	80.00	4	0	35	35	0	31	31	-4	野田東	75.56	3	0	42	42	0	38	38	-4		
	大原	85.00	5	1	22	23	1	21	22	-1	流山中央	95.20	4	3	29	32	3	28	31	-1		
											野田セントラル	83.42	5	0	35	35	0	35	35	0		

クラブ数 85R.C.	2004年7月1日地区会員数	3,190 人	当月平均出席率	83.61 %
	2005年6月末日地区会員数	3,102 人	増減	-88
	2004年7月1日地区女性会員数	105 人	女性会員増減	+ 10
	2005年6月末日地区女性会員数	115 人		